

会報 こほく

第35号
 滋賀県レイカディア大学
 同窓会湖北支部
 発行責任者 北村喜代嗣
 編集責任者 木田 勝幸

大学祭開催！

「ともに学び ともに遊び ともに生きる」

今年も米原文化産業交流会館のイベントホールとロビーで7月24日から26日の三日間、大学祭が盛大に開催されました。今年度は「日頃の学習成果の発表の場及び実践の場」に重点を置き、趣味（個人）の作品などの展示はしないことになり、卒業生の趣味（個人）の作品なども展示されませんでした。

卒業生も、それぞれの活動事例を紹介しました。①サポート隊：各部会の活動紹介。②卒業生：37・38・39期各学科の活動事例。③同窓会：昨年の「地域事例発表会」の内容を展示。湖北支部は「みどりの会」の活動事例紹介を展示しました。



卒業生の大学祭テーマ

「全員参加で楽しく、元気よく」





同窓会のコーナーでは本部と9支部が「〇〇支部この1年」と題して1年間の主な行事を紹介しました。その他にも、サポート隊・卒業生のグループが卒業後の活動事例をパネルで紹介しました。また、38期園芸学科卒業生のグループが、①子どもコーナー（竹細工とんぼ作り）、②体験1コーナー（ペンダント型アクセサリ作り）、③体験2コーナー（ペットボトルアクセサリ作り）の3コーナーを設置。用意した材料がすべてなくなるほど子供達やお母さん方に好評を博しました。学生募集プロジェクトチームもコーナーを設置しお客様に対し熱心に募集案内を行いました。



竹細工とんぼ



ペンダント型アクセサリ



ペットボトルアクセサリ



学生募集コーナー

湖北支部 春季グラウンドゴルフ大会



春季グラウンドゴルフ大会開催

6月17日(月)長浜バイオ大学ドームにおいて48名が参加し湖北支部春季グラウンドゴルフ大会が開催されました。

北村支部長挨拶の後、土川体育部長のルール説明や注意事項を受け体育部の皆さんのご協力のもと、三ゲーム二十四ホール、ストロークマツチプレーで行われました。

久しぶりに逢う人も試合が始まると、互いにアドバイスし合い、コミュニケーションも弾み、プレーを通して交流を深める一日となりました。

最後に抽選による「ラッキー賞」のお楽しみがあり、参加された方は和気あいあいの内に終了されました。
会員皆様のご協力ありがとうございました。



成績優秀者

順位	お名前	地区	スコア	H1
優勝	松岡純次	息長	49	2
2位	岸本四郎	神照1	49	2
3位	安居健次	入江	50	2



参加された48名の会員

※入賞されました3人の方に
投稿頂きました

良い一生でありたいな
松岡 純次

昨年春の大会に続いてまた優勝する事ができました。

同じドームで同じ3Rで昨年より5打も悪い49打、とてもと思っておりましたが、どうゆう訳か優勝、よほどレイ大OBのGGとは相性が良いのでしょうか。ラッキー。

さて、前回同様投稿の機会をいただきました。今回はGGの事、瓢箪づくりの事、頭の体操(ナンクロ)と3つの事を書きました。今回はGGと瓢箪について。

(1) GGはルールブックに第1章として1〜3条にエチケットの事が書かれてありマナーについてやかましく云われ、たいてい大会の挨拶の中で必ずと云ってよい程マナーを守る様に云われます。

私も日本GG協会の普及指導員をH16年から3級を4年、H20年から2級を8年間(通算12年間)勤めましたので研修会等でも云ってきた様に思いますが今ではあまり好きな言葉

ではありません。だって参加者の8〜9割の人にはまず問題の無い事であり、ああ・またか位にしか受け止められて無いと思います。じゃ何て云ったら良いか? “清く、正しく、美しく”。

これが最もふさわしい言葉だと思います。これは、15〜16才の女の子のあこがれの学校で日本に只一校のみの女子校、宝塚音楽学校の“校是”です。

GGにあてはめてみましょう。清く(いさぎよい)正しくは勿論、そして誰が見ても美しいプレー……。

みんなで心がけてプレーすればゲームが終わったあとのさわやかさが身にしみると思います。

(2) 瓢箪

瓢箪のひとり言を

紹介します。



ぶらりと育った私だが何か役立つ事もあるうじつくり見てよ この姿人の世渡りそのままよ口はほどほど控えめにどっ腹太く腰据えて

締めるところはぐっと締め丸い心と愛敬がいのちまだまだ少しの

臭味はあれど

末には一パイ銘酒を満たし人に好かれて愛されて身体大事に使命を果たし古くなる程艶を出す 良い一生でありたいな



松岡さんの作品

自分の人生にあてはめて見ると、なる程なあと私思います。私も瓢箪を20年余作っています。私もおとなな瓢箪の様にはなれませんが、私ももう古い人間です、艶のでる様に瓢箪めざして頑張ります。

いつまでも
心の若さを大切に
岸本 四郎

初夏の日差し心地良く晴れ渡り、湖上も波穏やかな今日、長浜バイオ大学ドームにてレイカディア大学湖北支部主催グラウンド・ゴルフ春季大会が開催されました。

友人に誘われて、久しぶりに参加しました。当日の新聞、星占いの(活気あふれる日、行動すると幸運が訪れる)を信じ、意欲を燃やし参加しました。知人も多く、懐かし、時を忘れて語り合う事が出来、信頼と友情の輪、楽しい雰囲気でした。

話の中で、皆、足、腰の痛み、体力の減少と頭脳の低下等の話ばかり……。

私も常に健康で自分なりに、前向きに進みたいと思いつつも、辛い膝関節の違和感の日。

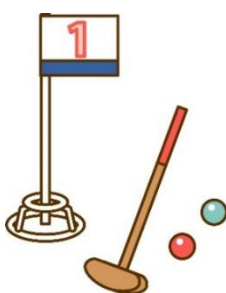
そんな、両足、膝関節の痛みを底いながら、今大会に挑みました。

改めて、良き場所、良い機会に恵まれ、生きる尊さを感じる一時でもありました。同学出身の集い。心と心の触れ合いと、より多くの人間関係を

得る事が出来ました。今後、お互いの友情と信頼を大切に守り続けていきたいと思っています。

今日の元気に感謝しながら、今後共に励まし、励まされ、老後を支え合い、生きようと改めて共感を覚えた一時でもありました。

現代社会の変化を追いながら、余命ある限りこれからも、頑張ろうと思っています。グラウンド・ゴルフは年齢に関係ない競技です。お互いに、これからは頑張りましょう。



在学中、習い覚えたフオーク・ダンス、22年間の長きに渡り指導し、昨年退きましたが、その、お陰で体力にも恵まれ今日まで病気もなく毎目を過ごしています。

これからも意欲を持ちながら頑張りましょう。最後に役員、皆さんの日頃の御苦労に感謝申し上げ、会員皆さんの益々の御健勝と御活躍を祈念致します。

湖北で心つつ演奏をめざして
「あかね会」 安居 健次

平成27年9月に北近江文化学科を私たち17名が卒業して久しくなります。

現在もみんなが集まりレイカディア大学で学んだ知識・経験を生かしテーマを決めて街道、城郭、古墳、寺院、神社、その他当時の村や人物など伝説や謂れを探訪しています。もちろん地元をガイド協会の方々にも案内をお願いして広い時代にわたる湖北や近江の歴史の変遷を学んでいます。また時には講師をお招きして歴史講座を開き現地へ行くなど見識を深めています。

さてクラス仲間には女子が6人いて卒業と同時に「あかね会」を立ち上げています。大学の理念に基づき地域の人たちとつながりを深め、喜んでいただけるボランティア活動に力を入れています。

それには地域の人たちと一緒に唄ったり踊ったりできる楽器演奏を取り入れようと4人が三味線を弾いています。

私は愛媛川崎会の三味線師範の講師免状があり三味線川崎流と民謡を指導しています。4人も60代の手習いで自ら進

んで初めて三味線を手にして、月2回のお稽古に休まず励み、努力を重ねている今日です。自慢する訳ではありませんが、三味線は細い竿に指を滑らせながら撥で弾く両手指の難しさがあって、昔から人前で弾けるようになるまで3年かかると言われてきました。

今では地方の民謡、演歌や歌曲目を通して童謡など数多くの曲でも弾けるようになりました。独りでも弾けるようになりまし

た。また男の仲間も赤い法被を揃えてバイオリンや締め太鼓で賑やかに応援し、総勢では8名のメンバーで活躍しています。

老人ホームや介護施設、各地域の老人会、サロン・その他各種イベントなどで一緒に演奏するとき、始めに代表が「私たちはレイカディア大学36期生です」と笑顔で自己紹介するときの誇りはまた各別です。これからも長浜市・米原市のボランティアセンターからの依頼をも受けながら音楽演奏はもとより在学中に作った紙芝居、そして自分たちで振り付けた花笠音頭を踊って、各地の皆さんに楽しんでいただけるように意欲をもって活躍していきます。



「あかね会」の皆様

長浜養護学校の剪定
ボランティア活動のご案内

今年も県立長浜養護学校でボランティア活動を致します。湖北支部で一昨年からはじめ

「千里の道も一歩から」三味線を始めてここまで来ましたが、これからもより腕を磨きながらあかね会一丸となって地域の活性化をめざして頑張つてまいります。

美しい湖国をつくる会への
活動参加のご案内

この活動は本会本部が昨年から取り組む事業で、「美しい湖国を作る会」が行う「県下一斉清掃運動」に、同窓生が各地区で集い行う地域活動です。

昨年は湖北支部では長浜市と米原市界のさいかち浜で実施しましたが、今年度は米原市

地域活動事例発表会の
ご案内

恒例の地域活動事例発表会が今年も11月18日(月)9時15分から近江八幡市「ひまわり館」ホールで開催されます。受付は8時45分からです。

湖北支部からは富永洋司様が「観光ガイドボランティア(仮)」について発表されます。各支部からの発表もありますので多数の皆様が聴講されますようご案内いたします。

訃報の連絡
知らせて下さい
北村支部長まで
☎0749 52-2616

訃報
謹んで哀悼の意を表し
心からご冥福を
お祈り申し上げます

12期スボレク学科
大塚 信 行 様
令和元年7月20日逝去

ご長寿インタビュー

人生の大先輩に健康長寿の秘訣をお伺いする



真壁きぬさん(びわ地区北) 17期生活学科 満101歳 大正7年4月20日生まれ

真壁きぬさんは、大正七年四月生まれで、今年、満百一歳を迎えられました。八月二十五日、午後一時より真壁きぬさんにインタビューをさせて頂きました。きぬさんは、車椅子に乗り、息子さん夫婦と一緒に迎えてくださいました。

少し耳が不自由なようで、聞き取りにくいところは、息子さんを通じて聞いてもらいました。

きぬさんは、十七期生活学科卒ですが、入学されたきっかけは？

「お父さんが米原校で盆栽(園芸学科)をしていて、学校は良いので、おまえも来

いとすすめてくれ、七十八歳から行き始めた。一番年寄りでした。

学校まで車で一緒に乗せて行ってもらった。あと一年は、お父さんが送ってくれた。その当時は、老人大学と呼んでいた。」

何を習いましたか？

「家政学科(生活学科?)に入って、手芸や裁縫を習った。クラスの人数は入学時十五人いたが、しまいに十三人に減ってしまった。」

その当時作ったという作品(小さな屏風)を見せて頂いた。その窓枠に色紙がはめ込まれていて、色紙には、切った布を縫いつけ、四季折々の年中行事(ひなまつり、こいのぼり)や花(あやめなど)を描いておられた。立体感のある素晴らしい絵だった。



趣味の作品 屏風と手芸品

車椅子はいつから？

「六年前に、洗濯ものを干しているときにこけて、骨折した時から。それまでは、自分の身の回りから畑まで自分で出来た。いまは、デイサービスでリハビリをしている。」

食事で気を付けていることがありますか？

「三食きっちり、みんなと一緒にたべる。肉、野菜やごはんの食べる量を決めている。特にご飯は何グラムと決めている。」

焼肉が好きで、「肉を食べると元気がでる」とおっしゃっているようです。

最近では「さしみ」も好んで食べ、「スライスチーズ」は毎朝欠かさず食べられるようです。

デイサービスなどで食事に出されたものは、残さず全部食べてしまい、残すともったいないとのこと。

趣味はなんですか？

「手芸や裁縫以外には、大正琴をずっと弾いていた。」目標をもって頑張ることが出来る人であり、指先を動かすことが頭の活性化に繋がっているようですとのこと。

ご家族は？

「父母は、ともに九十歳まで長生きした。またお姉さんは百二歳まで生きた。」家系としても長生きの血筋のようだとのこと。

レイ大に入ってよかったですか？

「いろいろな人に出合えてよかった。一時期、大津から先生にこちらに来てもらって、卒業生皆で手芸を習ったこともあった。またいろいろなところに旅行に行き皆と交わりがもてた。」

いまからの目標は？

「足をなおして、歩きたい。」



ベッドの中でも、手や足、体を動かし努力しておられるとのこと。何事にも前向きで目標のある日々が、まさに長生きの秘訣かと敬服しました。



屏風の色紙

写真前列

右から大塚副支部長

真壁きぬさん

北村支部長

後列、

右からご家族の方

馬淵地区幹事



《後記》

頭もしっかりしておられ、大きな声ではなされ、気丈な方の方です。とても百歳を超えておられるとは思えませんでした。

しっかりと食事が元気の源であり、指先を動かすことが、頭の活性化に繋がるようです。

今回のインタビューにあたり、真壁家ご家族をはじめ関わって頂いたすべての方々に心から感謝致します。